

科目名：人間関係論Ⅱ		必	2 単位 (90 時間)
(Human Relation)			
履修年次/時期：1 年次 後期		授業形態：講義・演習	
主担当教員： 中村仁志（終末期の臨床、精神科臨床実務経験 15 年や病院管理職での対人関係から、自己と他者との関係を考えていける授業を展開し学んでいく。臨床で働く外部講師の講義を加え、実際の患者・家族・多職種などにおける対人関係の実際を学習していく。）			
担当教員： 外部講師 石井一義			
学修目的	人間関係論Ⅰで学んだ知識・技術と自己の気づき、他者の理解を、より実践の場での状況を学修する。 医療の現場における実際の出来事などを知ることで、医療チームの構成員となるための基礎を学ぶ。 実践的場面での想定における練習を実施することで、実際の場面において対応できる医療者となるための体験をする。 CP 1, 5 に関連する。 科目 No. KLz-108		
この科目が目的としている DP	1. 医療専門職としての倫理観を有する。	(1) 生命の尊厳を基盤とし、医療における倫理観を有する。	○
		(2) 医療専門職として礼節を重んじ品格を備える。	○
	2. 医療専門職として健康問題の発見と課題に取り組む能力を有する。	(1) 教養と考える力を身につけ、主体的に課題解決に取り組む能力を有する。	○
		(2) 専門的知識や技術を修得し、人びとの健康に寄与できる能力を有する。	
		(3) 社会の動向に関心を持ち、学び続ける力を有する。	
	3. 健康支援を通し、全身の健康を守る看護実践能力を有する。	(1) 多様な価値観を持った人びとを理解し、人間関係を築く能力を有する。	○
		(2) 優しさに溢れる看護専門職として地域社会に貢献する能力を有する。	○
		(3) 看護専門職としての役割と責任を自覚し、多職種と協働できる能力を有する。	◎
	◎： この講義・演習・実習と最も関連がある DP ○： この講義・演習・実習と関連がある DP		
到達目標	①人間関係を築くために必要な知識・技術は何かを理解できる。 ②医療者として、対象となる人々を理解し、状況に応じた説明や対応ができる。 ③看護の実践にあたり、対象となる人々の意思決定を支援する対応を考えることができる。		
授業概要	患者と看護師の対人関係のあり方を通して、医療における人間関係を中心に学習する。言語的・非言語的な記号や象徴を用いて、患者と医療者の信頼関係構築に必要なコミュニケーション技術を養う。		
評価方法	授業における提出物：80％ 授業参加度：20％ 課題に対するフィードバックは掲示で行う。		
予習・復習時間	【予習】2.0h 【復習】2.0h		
教科書	系統看護学講座 基礎分野 人間関係論 (医学書院)		

参考書	授業で配布する資料
お問い合わせ- 連絡先	中村仁志 授業終了後～18:00 第3号館3階研究室 h,nakamura@kdu.ac.jp 外部講師 授業終了後 (中村宛メールをお願いします。) 石井一義 授業終了後～18:00 第3号館3階共同研究室 k.ishii@kdu.ac.jp 不在時はメールをお願いします。

実施回	授業計画	予習・復習・キーワード	担当
1 (/)	オリエンテーション 1. コミュニケーションとは A. 対人関係とコミュニケーション B. マスコミュニケーション C. 対人関係と自己の役割 基本的対人スキル	【予習】コミュニケーションとは何か考えてくる。 【復習】対人コミュニケーションとマスメディアによるコミュニケーションの違いを確認する。 【キーワード】チャンネルブライアンスマスコミュニケーション、ソーシャルメディア	講義 演習 ○中村
2 (/)	2. カウンセリングと心理療法 A. 面接とカウンセリング B. 精神力動的精神療法 C. 認知行動療法 D. コーチング	【予習】P104 を読みカウンセリングの基本を考えてくる。 【復習】カウンセリングと精神療法の応用方法を確認するコーチングの効果を確認する。 【キーワード】行動の変容、支持的精神療法、人間の意識、防衛機制	講義 演習 ○中村
3 (/)	3. 医療における看護師の役割 A. チーム医療 B. 医療チームにおける人間関係 C. 看護師の役割 D. チームワークとチームエラー E. 多職種連携	【予習】P162～163 を読み、チームとは何かを考えてくる。 【復習】医療現場における人間関係と看護師の役割を説明する。 【キーワード】患者アドボケイト、特定行為に係る看護師、コミュニケーションエラー、健康アウトカム	講義 ○外部講師
4 (/)	4. 患者・医療者関係 A. 医療場面での人間関係 B. 患者・看護師の関係性 C. 看護理論と患者・看護師関係 D. 患者・看護師間の相互作用	【予習】P185～186 の患者となった人の体験を読み患者の気持ちを考えてくる。 【復習】看護師として患者理解のために何ができるかを考える。 【キーワード】感情のコントロール、ペブロー、トラベルビー、ラポール、リフレクション、プロセスレコード	講義 ○外部講師
5 (/)	5. さまざまな看護場面における人間関係 A. クリティカルな状況の患者 B. 慢性疾患をかかえる患者	【予習】なぜ場面に応じた人間関係を考えなければならないか調べてくる。 【復習】危機状態や急性期の状態と慢性疾患をかかえる患者とのコミュニケーションの違いを確認する。 【キーワード】キャブランの危機、フィンの危機、自己効力感、9つの喪失	講義 ○外部講師

6 (/)	5. さまざまな看護場面における人間関係 C. 死に向かう患者	【予習】P213～215 死に向かう患者とのかかわりの実際を読み、場面を想像してみる。 【復習】死の受容過程における看護師としてのコミュニケーションを考える。 【キーワード】キューブラー・ロスの死の受容に向けた心理過程、老いと死、QOL、自己実現	講義 ○外部講師
7 (/)	5. さまざまな看護場面における人間関係 D. 人間関係構築がむずかしい患者	【予習】P215～219 こどもの入院を読み、どのような問題が起こるか考えてくる。 【復習】人間関係の構築がむずかしい患者への配慮について考える。 【キーワード】インフォームドコンセント、プレパレーション、親との関係性、幻覚・妄想、転移と逆転移	講義 ○外部講師
8 (/)	6. 家族関係論 A. 家族という存在 B. 家族を理解するための理論	【予習】家族の存在を自己について考えてくる。 【復習】家族を理解するために、自分に何ができるかを考えてみる。 【キーワード】家族機能の分類、家族の発達段階、ジェットコースターモデル ABCX モデル	講義 ○外部講師
9 (/)	6. 家族関係論 C. 家族看護の展開 D. 家族の問題へのアプローチ E. 家族とのかかわり	【予習】P235 の事例を読み、家族の問題とはどういうものかを考えてくる。 【復習】患者の家族への配慮が必要であることを確認する。 【キーワード】エンパワーメント、多様な家族のあり方	講義 ○外部講師
10 (/)	6. 家族関係論 F. 終末期患者と家族、遺族 G. 在宅療養中の患者と家族 H. 保護を必要とする患者と家族	【予習】P241 事例②を読み、終末期患者の家族にどのようなことが起こるのかを考えてくる。 【復習】終末期や在宅での看護には家族とのかかわりが濃密である理由を確認する。 【キーワード】予期悲嘆、家族システムとサブシステム、悲嘆プロセス、ネグレクト	講義 ○外部講師

11 (/)	7. ソーシャルサポートをめぐる人間関係 A. ソーシャルサポート B. ピアサポート C. セルフヘルプグループ D. エンパワースメント	【予習】P252 地域とは、地域の人間関係と看護実践を読み、自己の地域はどのようなものか考えてくる。 【復習】患者や利用者またはクライアントをとりまく地域や社会のサポートには何があるか、その必要性を確認する。 【キーワード】社会資源、ネットワーク、ノーマライゼーション、キャブプランによるソーシャルサポートの種類	講義 演習 ○石井
12 (/)	8. 人間関係の集合体としての地域の力 A. ソーシャルキャピタル	【予習】P263 ソーシャルキャピタルを読んでくる。 【復習】自分の周りの地域活動について考えてみる。 【キーワード】社会関係資源、絆（きずな）	講義 演習 ○石井
13 (/)	9. ノーマライゼーションをはぐくむ人間関係 A. ノーマライゼーションと人間関係	【予習】P266 ①ノーマライゼーションを読んでくる。 【復習】ノーマライゼーションを考慮した看護の実践にはどのようなことがあるか考える。 【キーワード】障害とノーマライゼーション、バリアフリー	講義 演習 ○石井
14 (/)	10. セルフヘルプ・グループとQOL	【予習】P248 セルフヘルプ・グループの広がり3行と表29を読みセルフヘルプ・グループとは何かを考える。 【復習】セルフヘルプ・グループの有用性と役割を確認し、QOLを考慮した支援を考える	講義 演習 ○中村
15 (/)	11. 援助をすることの意味と人間関係	【予習】P55 ②援助行動の心理的基盤を読み、援助とは何かを考える。 【復習】援助をするものと受けるものの人間関係を考え、看護における留意点を考える。 【キーワード】援助要請、援助成果	講義 演習 ○中村